注目！check 移住定住支援制度

天城町では島の生活を豊かに、便利にする支援をたくさんご用意しています！

島生活体験

・お試し移住体験

「いきなり移住するのは不安だな…」そんな方は移住する前にお試しで天城町へ来てみませんか。天城町へ移住を希望する方とその家族、山海留学の体験入学をする児童生徒とその家族が対象。

宿泊費用とレンタカー等の賃借料を合計した30％以内、
上限1人当たり3,000円／1日を助成

結婚

・新婚さん応援生活補助

天城町に定住を約束してくれる新婚さんの新たな門出を応援します。

引越費用や家財道具等購入費用の
1／2以内、上限15万円を補助

妊娠

・妊活支援旅費助成

妊活にかかる負担を、少しでもサポートしたい！

妊活するために島外で治療を受ける方の
旅費の2／3を助成

出産

・出産祝金

出産の喜びをみんなで分かち合い、町の宝である子どもの誕生をお祝いします。

1人目5万円、2人目10万円、3人目以降は一人につき10万円を加算し支給（上限額無し）

子育て

・保育料全額助成

天城町は子育て世帯を全力で応援します！

**0～2歳児が無償化の対象なのは
全国でも珍しい取り組みです！**

保育園・幼稚園に通う園児の保育料等を全額助成。
※全年齢対象（0～2歳児も対象です）

・在宅育児支援

「自宅で子育てしたい！」その想いに寄り添います！

生後6ヶ月～3歳未満の乳幼児を在宅で育児している家庭へ、月1万円（年間12万円）を助成

・0歳～18歳の医療費全額助成

急な病気や怪我でも安心！子どもの病気や怪我の治療をサポートします。

0歳～18歳までの医療費の
自己負担分を全額助成

医療

・島内での治療困難者旅費助成

「大きな病気を経験した自分には、離島への移住はハードルが高いなぁ…」「移住後に、島内で治療が受けられない病気になったらどうしよう…」そんな不安に寄り添います。

島外医療機関を利用する場合の旅費
（半額相当、上限回数制限あり）を助成

住居

・お帰りなさい住宅改修補助

※Uターン者のみ対象

「天城町へUターンしたい、だけど家が古くて住めない…」という方必見！実家等の改修費用を補助します。

Uターンするために実家等を改修する対象経費の1／2以内、上限100万円を補助

教育

・山海留学制度

小規模校ならではの特色ある魅力的な学校で、自然に囲まれのびのび学習しませんか？

対象校（4校）
・天城町立岡前小学校与名間分校
・天城町立西阿木名小学校
・天城町立西阿木名中学校
・天城町立西阿木名小学校三京分校

●家族型：
家賃補助上限3万円／月、
児童生徒1人当たり育成費3万円／月

●孫・親戚・友達型：
児童生徒1人当たり育成費3万円／月

▶YouTubeで
PR動画公開中

・われんきゃ
グローバルプロジェクト

世界雄飛と島の未来を担う子どもの、語学力向上と人材育成に力を注いでいます！

●世界に飛躍する人材を育てる、
海外留学派遣を実施

●英語検定（中学生）、漢字検定
（小学6年生）を対象に
無料で検定を実施

仕事

・UIターン起業家支援補助

起業したい人必見！移住後の新たな挑戦を応援します。

起業にかかる対象経費の1／2以内、
上限50万円を補助

・農業研修生受入事業

「農業を始めたい！」そんなあなたには、農業研修生をオススメします！
天城町農業センターにて農業研修生としてノウハウを取得でき、研修終了後はハウスを無償で借りることができます。

研修期間：1年間（9月1日～翌年8月31日）
研修手当：日額4,500円

※各補助や助成の詳細については、お問い合わせください。

【問い合わせ】
天城町役場企画財政課
ふるさと創生室
〒891-7692
鹿児島県大島郡天城町平土野2691番地1
電話：0997-85-3116　FAX：0997-85-3110

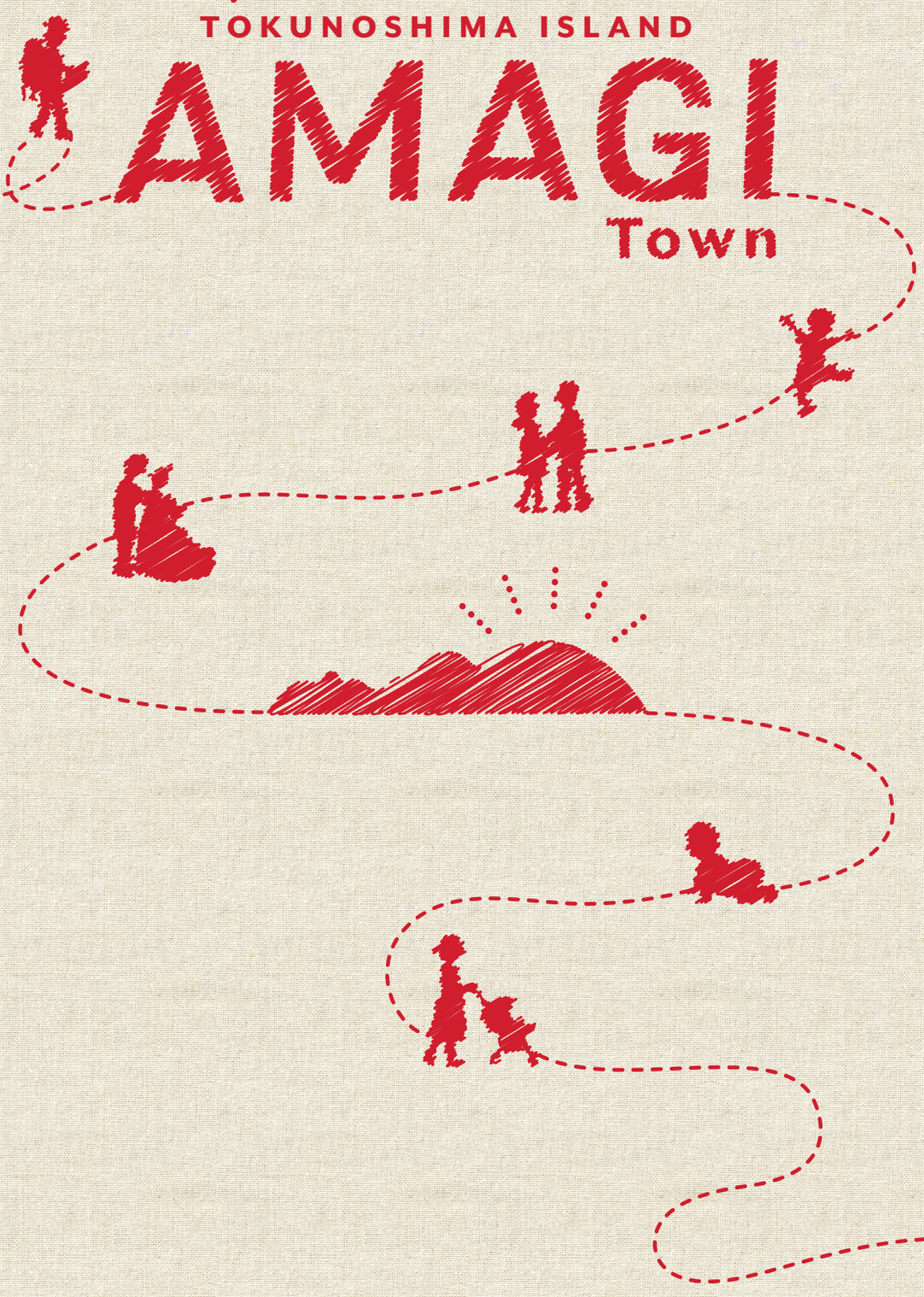
天城町移住情報サイト
おいでよ！魅惑のアマパゴス

天城町移住情報
公式 Instagram

おいでよ！魅惑のアマパゴス

TOKUNOSHIMA ISLAND

AMAGI Town



徳之島へのアクセス

※台風シーズンは注意してください。

飛行機や船が天候の影響を受けますので、天候や運行情報は常にチェックが必要です。

マルエーフェリー　マリックスライン

フェリーの場合

鹿児島市から奄美大島を経由し沖縄を往復する定期船

鹿児島　1日1便

マルエーフェリー ☎099-226-4141
マリックスライン ☎099-225-1551

飛行機の場合

鹿児島・奄美大島より直行便

鹿児島　1日4便
奄美大島　1日2便
沖縄（沖永良部島）　1日1便

- 時期によって変更があります
- JAL／JAC（国内線予約電話）0570-025-071

AMAGI TOWN
TOKUNOSHIMA ISLAND

感じる

トライアスロンIN徳之島で有名な天城町は、沖縄と同じく亜熱帯性気候で、豊かな自然に恵まれスポーツに最適な環境です。各種競技施設が充実しており、数多くのアスリートたちが合宿地として訪れています。南北に沿った海岸線には奄美十景の一つであるムシロ瀬をはじめ魅力的な景勝地が多くあります。最近では日本最大級の水中鍾乳洞「ウンブキ」が発見されるなど話題を集めています。

アマミノクロウサギ観察小屋

国の特別天然記念物であるアマミノクロウサギの様子を夜間に撮影した動画の鑑賞をすることができます。

オキナワウラジロガシ

奄美大島、徳之島、沖縄島、久米島、石垣島、西表島に分布する日本の固有種。日本最大のドングリが実る木として有名。

おいでよ魅惑の「アマパゴス」

東洋のガラパゴスこと奄美大島のお隣にある徳之島・天城町は、ガラパゴスに負けず劣らず自然豊かで多くの固有種が存在しています。アマミノクロウサギに代表される、希少な動植物が数多く生息していることが評価され、奄美大島、沖縄島北部、西表島とともに世界自然遺産に登録されました。

観光情報

©天城町商工水産観光課

① ヨナマビーチ

美しい海で遊びたい放題！ヨナマビーチは小さなお子様でも安心して海遊びが楽しめ、シーズン中の休日には多くの家族連れで賑わっています。天城町B&G海洋センター艇庫でシーカヤックやSUPなどをレンタルするのもオススメ！

② ウンブキ

海から約400m内陸に位置し、潮の満ち引きの影響で水位が変化する日本最大級の水中鍾乳洞です。入り口付近は南国特有の植物が生い茂り、野鳥も飛び交うなどとても神秘的な空間となっています。

③ 闘牛

闘牛は島の言葉で「なくさみ」と呼ばれ、およそ500年の歴史があるといわれています。闘牛と勢子（せこ）の気合いに、島独特の掛け声「ワイドー！」や勝ち牛を祝福し喜びを分かち合う「手舞い」が一層の興奮を誘います。

④ 食

マンゴーやパッションフルーツなどの亜熱帯果樹をはじめ、健康・長寿の秘訣ともいわれる黒糖や黒糖焼酎など魅力溢れる食文化が根付いています。島民のソウルフード「玉子おにぎり」は、昨今メディアで取り上げられ一躍有名に！

⑤ 芸能

子守唄や祝い唄など、70数曲の民謡があるといわれる徳之島。その民謡やユネスコの消滅危機言語にも指定されている徳之島の方言を用いたミュージカル劇団「結シアター手舞」は、町内の中高生を中心に島内外で活躍しています。

⑥ スポーツ
トライアスロンIN徳之島大会

毎年6月下旬頃に開催される徳之島最大のスポーツイベント。スイム2km、バイク75km、ラン20kmを徳之島全体が舞台となり、鉄人たちの熱い闘いが繰り広げられます。

AMAGI TOWN
TOKUNOSHIMA ISLAND

暮らす

天城町には14の集落があり、それぞれの集落では1年を通じて様々な地域行事が行われています。代表的なものは「浜下り（はまおり）」と呼ばれる行事で、新生児の健康祈願や豊作祈願を行います。また、町内には徳之島子宝空港や平土野港があり徳之島の玄関口となっており、島外とのアクセスにとても便利な立地です。

医療環境
町内には診療所（内科、外科）1軒、歯科診療所が2軒、医療センター（内科、外科、小児科）が1軒あり、そのほか介護や福祉の施設もあります。

買物環境
天城町には北部、中部、南部各所にスーパーがあり、コンビニエンスストアや薬局のほか、地元商店があるため日用品の購入には問題ありません。ですが、若者向けの衣料品店等が少ないため、ネット通販などを上手に活用することも重要となります。

交通環境
交通手段はバス、デマンドバス、タクシーがあります。日常生活では自家用車やオートバイでの移動が主となります。

通信環境
携帯電話は概ね全島をカバーしていますが、携帯会社によっては不便を感じることもあります。インターネットは光回線が標準となっています。

住宅
老朽化した空き家は多いですが、賃貸物件は少ないです。空き家だからと言って気軽に貸してくれるケースは珍しく、地域住民の紹介が必要な場合が多いです。希望の物件に巡り合うためには、移住までのスケジュールに余裕を持って探すことをお勧めします。

空き家バンク
空き家を「貸したい・売りたい」所有者から受けた情報を町ホームページ・広報誌などで公開し、定住等を目的として空き家を「借りたい・買いたい」方へ情報提供を行う仕組みです。交渉や契約は、所有者と借りたい・買いたい方との当事者間で行っていただきます。

AMAGI TOWN
TOKUNOSHIMA ISLAND

育てる

「子（クワァ）は（ヤ）島の宝（シマヌタカラ）」、地域には子育てに対する優しい気持ちが色濃く根付いています。地域の人々が一緒になって子育てに関わり、一人ひとりの子どもの成長をともに見守り、ともに喜びます。

▲ 三京分校
◀ 天城町ユイの里医療センター

AMAGI TOWN
TOKUNOSHIMA ISLAND

働く

地縁・血縁者からの紹介を除くと、ハローワークや地域情報フリーペーパーに掲載される情報がほぼ全ての求人になります。求人数は他の離島に比べ多いです。主な求人は、医療・介護、小売業、建設関係で、特に医療・介護分野の資格を持っている場合は就職に困ることはありません。ただし、賃金は都会に比べるとかなり低いので、将来を見据えた貯蓄も必要となります。

▲ 農業研修の様子
◀ 医療機関で働く様子

ナルホド! flowchart

移住までのスケジュール

1 「百聞は一見にしかず」徳之島・天城町を訪れてみよう
まずは実際に天城町へ来てみて、島の空気感を肌で味わおう！

2 なぜ天城町に住みたいのか、考えてみよう
移住する動機や目的をきちんと明確に持つことはとても大事です。目的を持って移住の計画を立てましょう。

3 移住までのスケジュールを決めよう
今すぐに移住したい！と思っても、すぐには仕事や住まいが見つからないことも。一度だけの来島で移住を決めるのではなく、数回来島して島での生活環境や住みたい地域の雰囲気を十分に理解しましょう。

4 先立つものは、お金！生活設計をきちんと立てよう
島での暮らしはお金がかからない、という思い込みは危険です。移住前後の金銭面での生活設計をきちんと立てて、不安要素を減らしましょう。

5 仕事を決めよう
実際に来島した際に、まずは仕事について考えましょう。島で仕事を見つけるためには、ハローワークや地元の人の紹介が必要となる職場がほとんどです。安定した収入ややりがいを持てる仕事があることは、移住後の生活をより豊かなものにしてくれます。また、リモートワークを活かして、都会での仕事をそのまま持ち込むのもありです。

6 住まいを決めよう
移住する際に一番の大きなハードルは、実は「家探し」です。運良く、手頃な物件が見つかることは珍しいです。民間で流通しているアパートなどの賃貸物件はほとんどなく、移住者が独自で家を探すのは難しいです。そのため、数回来島する中で地域の方から紹介してもらったり、町営住宅に申込みを行ったり、空き家バンクに登録されている物件を借りたりと根気が必要となります。

7 学校や保育所、病院、そのほかの福祉施設等を見学しよう
お子さんがいる家庭は、転入する学校や保育施設などが気になるもの。役場を通じ、事前に見学等を行いましょう。また、離島は医療機関が都会に比べると脆弱です。デメリットについてもきちんと把握しておきましょう。

8 島内での移動手段を考えておこう
島内の移動手段はほとんどが自家用車やオートバイとなります。公共交通機関の利便性はあまりよくありません。今使っている車を島へ持ち込むのか、島で購入するのか、事前に考えておきましょう。

9 引越しの準備を進めよう
都会のように引越し業者のトラックが家の前まで来て、荷物の搬入・搬出を全て行ってくれるわけではありません。コンテナを手配し、搬入・搬出は自分で行うことがほとんどです。コンテナの配送は、陸路と航路です。フェリーの運航は天候によっても左右されるため、余裕のある引越しスケジュールを組みましょう。

10 引越しをしよう
引越しに伴う各種手続きに併せて、集落の区長さんや地域の人たちへの引越しの挨拶も忘れずにしましょう。引越しの際に顔を合わせておくことで、何かあった時の心強い味方が増えます。

11 さぁ！あなたの移住ライフのスタートです！
期待に胸を膨らませ、あなたの移住ライフがスタートしました。早く環境に慣れようと慌てずに、まずは思う存分、島を楽しんでください。

12 「郷に入りては郷に従え」島での生活習慣や文化を尊重しよう
島で生活をすると、驚くような習慣や文化に出会います。ちょっと変だな、とか、ここをこうしたらもっと良くなるのに、と思っても、地元の人たちはそれが普通の生活スタイルです。自分の価値観や先入観を地元の人たちに押しつけることなく、受け入れて尊重することが大切です。

13 住みたい地域の人々と積極的に関わろう
地域行事などが行われる際には、積極的に参加をしましょう。自分はどこの出身で、どうして島に来たのか、地域に受け入れてもらうためにも、自分のことをたくさん知ってもらいましょう。

14 自分の得意なことや好きなことを活かして、地域に貢献しよう
今までの経験や知識、技術、または趣味や特技を活かして、地域に貢献できることを探してみましょう。あなたの持っている能力は、きっと地域の大きな力になることでしょう。

15 新しいことに挑戦してみよう
移住したからこそできることがきっとあるはずです。ぜひ新しいことに挑戦してより充実した移住ライフを楽しんでください。

先輩移住者 interview

私たち、天城町に やってきました！

農業研修生受入事業 を活用

2018年 4月移住

町のみんなが挑戦を応援してくれる！ スキルを活かして島生活をエンジョイ!!

吉川 勝也さん（30代／天城町出身）
恵子さん（30代／神奈川県出身）

勝也さん：鹿児島の高校への進学で島を離れた時から、いつかは戻って両親に恩返ししたいと思っていました。天城町農業センターで1年農業研究生として農業のノウハウを学び、農業次世代人材投資事業（新規就農者支援）を活用し、メロンとパッションフルーツを栽培しています。自分には昔からの仲間がいますが、Iターンでも協力者は現れると思います。人々が結束し助け合う「結の島」ですから。

恵子さん：コンビニやドラッグストアが増えて、これなら住めると思えるようになるまで10年かかりました。服飾関係の仕事をしていた経験を活かし、手作りアクセサリーや雑貨を制作販売しています。お洒落を楽しみたい島の女性に喜んでもらえて嬉しいです。島にないものを嘆くより、あるものを楽しむのが秘訣です。4人の子どもを通じて、友達はすぐにできました。

UIターン起業家支援補助 を活用

2018年 5月移住

家族全員で来店OK！ 寛ぎ空間のある美容室を経営

髙田 泰治さん（50代／大阪府出身）
和子さん（40代／大阪府出身）

和子さん：私は大阪生まれ大阪育ちですが、両親が天城町出身で祖父母の家によく帰省していました。夫婦そろって自然が好きで、いつかは定住したいと思っていました。6人の子どものうち4人は成人していますが、下の2人が保育園児。50歳を目前にした夫がこの子たちを養い続けるには、定年退職後に畜産や農業ができる天城町がいいと考え、移住を決意しました。21年の美容師経験を活かし、長年の夢だった自分の店をオープンさせることができたのは、天城町にUIターン者向けの「起業家支援補助制度」があったからです。また、天城町は子育て支援が素晴らしく、地域や行政の方々が積極的に介入してくれて孤独感は全くないです。移住するとなるとあれこれ難しく考えてしまいますが、あまり深く考えなくても大丈夫。何とかなります！

山海留学制度 を活用

2019年 8月移住

自分たちらしい生き方を発見！ 自然に囲まれのびのび子育て中

太田 照久さん（40代／愛知県出身）
はるかさん（40代／愛知県出身）

照久さん：自然や生き物が好きな子どもが生き生きと暮らせる場所を探していた時、たまたま見つけたのが天城町の山海留学制度でした。子どもを受け入れるだけでなく、移住したことで、家族での移住を歓迎してくれたのは、私が調べた限り天城町だけでした。役場が住まい探しを協力してくれたおかげで、5月の見学から3カ月で移住できました。山海留学制度は家賃補助と児童育成費があるので、仕事を辞めてきた私にはありがたい制度です。私たちの住む当部集落では、毎日誰かが家に訪ねて来たり、玄関先に野菜が置いてあったりと、都会とは違った人々の絆の深さがあります。移住したことで、私たち家族に合った暮らし方を見つけられたのが一番嬉しいです。今の生活に悩みを抱えている方には、自分に合った生き方を見つけるための移住という選択をおすすめします。

天城町地域おこし協力隊

「アート」×「環境」×「福祉」を 繋げる活動で地域活性に貢献！

天城町地域おこし協力隊OG
のせ たかこさん（東京都出身）

自然豊かな場所で「アート」と「環境」と「福祉」を繋げる活動ができないか模索していたところ、天城町の地域おこし協力隊の募集を見つけたことがきっかけで移住しました。
自然が大好きなので、身近なところで生き物の多様性が感じられることが本当に幸せです。家の庭先にアマミノクロウサギが遊びに来たり、鳥のさえずりを聞きながらお茶を飲んだり、こんなにも素晴らしい環境はほかには無いと思っています。自然からインスピレーションを受けて制作ができることは、私の人生をとても豊かなものにしてくれました。
私の今の目標は、個展を開くこと、継続したアート活動の中で地域活性に貢献し続けることです。みなさんの移住ライフが幸多きものでありますように。

地域おこし協力隊のFacebookは こちらから！